平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名　神鋼商事株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　8075　URL　http://www.shinsho.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 村瀬　敬一
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長　(氏名) 阿野　健二郎　TEL 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日　配当支払開始予定日　平成24年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	397,095	△11.2	2,477	△23.5	2,194	△21.1	324	△79.7
24年3月期第2四半期	447,019	5.8	3,237	△11.7	2,781	△6.1	1,600	△1.3

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△556百万円　(—%)　24年3月期第2四半期　1,298百万円　(18.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.67	—
24年3月期第2四半期	18.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	214,894	27,564	12.0
24年3月期	231,406	28,531	11.5

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　25,879百万円　24年3月期　26,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00			
25年3月期(予想)			—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
詳細につきましては、本日(平成24年10月31日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	803,000	△8.2	6,300	△3.9	5,600	△5.3	2,300	△21.7	25.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	88,605,625 株	24年3月期	88,605,625 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	54,050 株	24年3月期	53,801 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	88,551,680 株	24年3月期2Q	88,532,780 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　・・・・・・・・・・・・・ 3
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　・・・・・ 3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　・・・・・ 3
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示　・・・・ 3
３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書　・・・・ 6
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(4)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記　・・・・・・ 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内については震災復興関連需要などにより底堅く推移しているものの、長期化する円高や欧州の財政危機問題等に端を発した景気減速が先進国から新興国に波及してきたことなどから、予断を許さない状況が続いてまいりました。

このような環境の下、当社グループはインド・チェンナイ市近郊において、本年７月に鉄鋼厚板加工の工場建設に着手致しました。また、その設立支援と市場開拓を目的として神鋼商事インド会社チェンナイ事務所を開設するなど、アジア諸国を中心にグローバルビジネスを推進してまいりました。

しかしながら、業績につきましては主要需要家である自動車業界向けの取扱いは好調に推移したものの、海外景気の減速により鉄鋼、半導体、電機各業界の取扱いが減少したことから厳しい状況で推移しました。

この結果、売上高は3,970億95百万円（前年同四半期比11.2％減）、営業利益は24億77百万円（同23.5％減）、経常利益は21億94百万円（同21.1％減）となりました。なお、特別損失として国内子会社が保有する固定資産の減損損失など3億41百万円を計上したことに加え、過年度法人税等として6億7百万円を計上したことなどから、四半期純利益は3億24百万円（同79.7％減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①鉄鋼セグメント

線材製品はエコカー減税・補助金の効果により、自動車生産が好調に推移したことから取扱量が増加しました。鋼板製品は国内においては電機・建材向けの取扱量が減少し、輸出は新興国の景気減速により取扱量が減少しました。一方、チタン・ステンレス製品はエネルギー関連需要が堅調であったことから取扱量が増加しました。

この結果、売上高は1,277億88百万円（前年同四半期比3.7％減）、セグメント利益は13億22百万円（同4.1％減）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は価格下落に加え、取扱量が減少しました。冷鉄源は市況価格は下落しましたが取扱量は増加しました。一方、合金鉄およびチタン原料は価格が上昇したものの取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,571億72百万円（前年同四半期比15.9％減）、セグメント利益は3億37百万円（同28.0％減）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は自動車向け端子コネクター用銅板条の取扱量は増加しましたが、半導体向けリードフレームの取扱量が需要不振により減少しました。アルミ製品も自動車向けの取扱量は増加しましたが、印刷版、ハードディスク向けアルミ板条ならびにアルミ加工品の取扱量が減少しました。また、非鉄原料も銅・アルミ地金およびスクラップの取扱量がそれぞれ減少しました。

この結果、売上高は832億54百万円（前年同四半期比17.0％減）、セグメント利益は1億47百万円（同69.7％減）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は中国向けアルミ関連加工機械の輸出や電池用材料の取扱量は増加しましたが、 大型案件の減少により取扱いがほぼ横ばいとなりました。また、情報関連商品もタッチパネル用電子材料の取扱量は増加しましたが、太陽電池関連機材の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は298億62百万円（前年同四半期比20.6％増）、セグメント利益は18百万円（同88.5％減）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は自動車業界向けは好調でしたが、造船、化工機業界向けの取扱量が減少し、韓国、中国向けの輸出も減少しました。溶接関連機器は建設機械メーカー向けの中国での取扱いは減少しましたが、国内は増加しました。また、生産材料の取扱量は減少しました。

この結果、売上高は208億64百万円（前年同四半期比18.4％減）、セグメント利益は2億80百万円（同19.3％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は2,148億94百万円となり、前連結会計年度末比165億11百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものです。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は1,873億30百万円となり、前連結会計年度末比155億44百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金と短期借入金の減少によるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は275億64百万円となり、前連結会計年度末比9億66百万円の減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年９月28日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました予想数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等並びに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,476	17,513
受取手形及び売掛金	148,751	133,663
商品及び製品	24,015	24,729
仕掛品	473	397
原材料及び貯蔵品	303	443
前払金	9,827	6,973
繰延税金資産	705	737
その他	2,377	3,017
貸倒引当金	△287	△243
流動資産合計	203,642	187,232
固定資産		
有形固定資産	4,258	4,320
無形固定資産	1,451	1,392
投資その他の資産		
その他	22,296	22,102
貸倒引当金	△242	△153
投資その他の資産合計	22,054	21,949
固定資産合計	27,764	27,662
資産合計	231,406	214,894
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	130,659	119,797
短期借入金	30,225	25,412
未払法人税等	997	749
賞与引当金	779	819
その他	21,145	17,076
流動負債合計	183,807	163,854
固定負債		
長期借入金	17,039	21,602
退職給付引当金	612	622
役員退職慰労引当金	30	32
その他	1,385	1,218
固定負債合計	19,066	23,475
負債合計	202,874	187,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	21,415	21,554
自己株式	△17	△17
株主資本合計	29,752	29,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264	△804
繰延ヘッジ損益	△11	23

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
為替換算調整勘定	△3,377	△3,230
その他の包括利益累計額合計	△3,124	△4,011
少数株主持分	1,904	1,685
純資産合計	28,531	27,564
負債純資産合計	231,406	214,894

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	447,019	397,095
売上原価	436,345	386,129
売上総利益	10,674	10,965
販売費及び一般管理費	7,437	8,488
営業利益	3,237	2,477
営業外収益		
受取利息	18	22
受取配当金	224	241
持分法による投資利益	70	89
デリバティブ評価益	218	315
雑収入	276	197
営業外収益合計	808	866
営業外費用		
支払利息	351	314
売掛債権譲渡損	445	368
為替差損	245	305
雑損失	221	162
営業外費用合計	1,264	1,150
経常利益	2,781	2,194
特別利益		
投資有価証券売却益	2	－
会員権売却益	－	5
特別利益合計	2	5
特別損失		
減損損失	－	331
投資有価証券評価損	53	3
会員権評価損	－	7
特別損失合計	53	341
税金等調整前四半期純利益	2,729	1,857
法人税、住民税及び事業税	919	934
過年度法人税等	－	607
法人税等調整額	148	△25
法人税等合計	1,067	1,516
少数株主損益調整前四半期純利益	1,661	340
少数株主利益	61	16
四半期純利益	1,600	324

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,661	340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△406	△1,077
繰延ヘッジ損益	129	35
為替換算調整勘定	△99	105
持分法適用会社に対する持分相当額	13	39
その他の包括利益合計	△362	△896
四半期包括利益	1,298	△556
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,263	△561
少数株主に係る四半期包括利益	35	5

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	132,699	186,802	100,300	24,764	25,555	470,120	188	△23,289	447,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	0	－	－	0	－	△0	－
計	132,699	186,802	100,300	24,764	25,555	470,121	188	△23,289	447,019
セグメント利益	1,379	468	488	156	347	2,839	23	△82	2,781

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,839
「その他」の区分の利益	23
その他の調整額	△82
四半期連結損益計算書の経常利益	2,781

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	127,788	157,172	83,252	29,862	20,864	418,939	186	△22,030	397,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	1	－	－	1	－	△1	－
計	127,788	157,172	83,254	29,862	20,864	418,941	186	△22,032	397,095
セグメント利益	1,322	337	147	18	280	2,106	26	61	2,194

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,106
「その他」の区分の利益	26
その他の調整額	61
四半期連結損益計算書の経常利益	2,194

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「機械・情報」セグメントにおいて、継続して営業損失を計上している子会社の固定資産につき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該金額331百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。